

レジメン名	RAM+FOLFIRI療法	RAM(1)+CPT11 (1) + 5FU(1) 【q1 4 d】
がん種又は疾患名	進行・再発の結腸・直腸癌	

承認されたレジメン		承認されたカスタマイズの範囲	
day 1			
<本体1>	デキサメタゾン 9.9mg ポララミン注 1A パロノセトロン0.75mg/50mL 1袋 30分 ※フィルター付き点滴ラインを使用	5HT3拮抗薬は省略してはいけない * イリノテカン投与後（投与後2,3日目）のステロイド（デカドロン8mg/day：経口または注射）は必要に応じて投与する（遅発性の制吐目的）。	
<本体2>	サイラムザ 8mg/kg 初回 60分 生食 250mL 2回目以降30分 全量を250mLにする	生食以外は使用しない 全量を250mLにする 初回問題なければ2回目以降は30分で投与	
<本体3>	生食 50mL 初回 60分 2回目 60分 3回目以降 6分	初回、2コース目までは60分で投与 2コース目までは60分間の観察が必要 問題なければ3コース目からは6分で投与 投与後バイタルサインを確認	
<本体4>	イリノテカン 150mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 500mL 2時間 レボホリナートと同時開始	患者の状態に応じて適宜減量してよい	
<側管>	レボホリナート 200mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 250mL 2時間	イリノテカンの側管から投与	
<本体5>	5-FU 400mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 50mL 全開で		
<本体6>	生食 50mL 全開で		
<本体7>	5-FU 2400mg/m <sup>2</sup> デキサート 1.65mg 1A 生食 全量140mLになるように 46時間	生食は インフューザーポンプ使用時は全量140mLとなるよう調製する ポンプを使用しない場合は生食バッグ1000mLを使用する	
day2,3			
<内服>	デカドロン錠 8mg 分2 朝・昼食後	* 投与後2、3日目のステロイド（デカドロン8mg/day：経口）を投与する（遅発性の制吐目的）。	
day 3			
<本体1>	ヘパリンNa点滴用シリンジ 10mL 1筒 本体終了時	210	